

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
【法人名】 公益財団法人 埼玉県下水道公社	目標	全水循環センター放流水の平均BOD値 【令和2年度目標】 3mg/ℓ以下 【令和3年度目標】 3mg/ℓ以下 【令和4年度目標】 3mg/ℓ以下	温室効果ガス排出量の削減 【令和2年度目標】 平成17年度比△29% 【令和3年度目標】 平成25年度比△19%以上 【令和4年度目標】 平成25年度比△25%以上	運転の工夫等によるコスト削減 【令和2年度目標】 △5,800万円以上 【令和3年度目標】 △1億1,100万円以上 【令和4年度目標】 △1億2,800万円以上	普及啓発事業参加者 【令和2年度目標】 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 15万人以上 【令和3年度目標】 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 17万人以上 【令和4年度目標】 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 17万人以上
	各年度の実績	【令和2年度実績】 2.3mg/ℓ 【令和3年度実績】 2.5mg/ℓ	【令和2年度実績】 平成17年度比△31.7% 【令和3年度実績】 平成25年度比△24.7%以上	【令和2年度実績】 △8,918万円 【令和3年度実績】 △1億3,610万円	【令和2年度実績】 17万8,829人 【令和3年度実績】 18万4,735人
	法人による自己評価	流入する下水の状況が季節や天候により変化することに合わせ、反応タンク内の酸素濃度や微生物の量を調整し、良好な放流水質の確保に努めた。 この結果、令和3年度の平均BOD値は、目標を達成した。	自然運転(汚泥そのもののエネルギーで汚泥を燃焼)による燃料や電気の使用量削減、高温焼却(焼却炉の温度を850℃以上にコントロール)による一酸化二窒素の発生抑制、汚泥の消化による焼却汚泥量の削減など、様々な取組で温室効果ガスの削減に努めた。 この結果、令和3年度の温室効果ガス排出量は、目標を達成した。	水処理施設や汚泥処理施設の最適な運転や省エネ機器への更新、自然運転などにより、燃料費や電気料・薬品費等のコスト削減に努めた。 この結果、令和3年度のコスト削減額は、目標を達成した。	令和3年度は、新たにInstagramを開始するとともに、インターネットを活用した「第2回埼玉下水道検定クイズ」の実施や、ミス日本「水の天使」による”ホテルを観に行こう”動画の制作・公開などに取り組んだ。 この結果、公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者数は、目標を達成した。
【中期経営計画の期間】 令和2年度～令和4年度					